

平成30年度 事業報告書

1, 概要

わが国の雇用情勢は大きく改善され、有効求人倍率は史上初めて47都道府県で1倍を超えました。一方企業の人手不足はさらに深刻化し、大手コンビニチェーン店の売りである24時間オープンの店舗を、人手不足解消のために営業時間を短縮するなど苦慮しています。

当シルバー人材センターでも近年、発注者からの依頼が多くあり就業の需要と供給のバランスが崩れかけているのが現状です。しかしながら地域社会からセンターに対する大きな期待に応えるべく地域に根ざした活動をするには、会員の拡大が今後ますます重要となります。

平成30年度 当センターの請負事業実績は4,783件(昨年度対比-218件) 契約金額302,184,592円(昨年度対比達成率98.3%)でした。また労働者派遣事業実績は受託件数293件(昨年度対比+9件) 契約金額40,038,851円(昨年度対比達成率93.5%)と事業量は微減いたしました。また会員数は事業計画どおり達成はしたものの横ばい状況が続いております。

本年度も地域就業機会創出・拡大事業として空き屋維持・管理事業、高齢者見守り買い物代行事業・すくすく子育て事業を行ってきました。どの事業もこの時代に即した事業で、最終年度の目標を達成することが出来ました。また独自事業では昨年10月にリニューアルオープンした茶房「よいやんせ」・「よいやんせ財部店」の営業をはじめ、年末には門松づくりで子供達に日本の良き伝統文化を継承し、地域の活性化にも十分応えることが出来ました。また、ゆずドレッシング・ごまドレッシング・焼き肉のたれの3本セットをHPなど利用し積極的に全国に販売をしてきました。

平成30年度はセンターの中期3ヶ年事業計画(Ⅲ期)の最終年度。今後3ヶ年の計画と事業実績を分析し、次の中期3ヶ年事業計画(Ⅳ期)を達成できるよう計画を立てていかなければなりません。一人でも多くの会員に入会していただき、安定的な事業運営が出来るよう、また日々地域社会の要望に応じて、一人でも多くの会員が地域で就業できるよう役職員・会員が一丸となって今後も取り組んでいきます。

2, 平成30年度 事業結果報告

① 会員の動向

平成29年末 会員数 525名		
地区	平成29年度末	平成30年度末
末吉	284名	278名
大隅	132名	136名
財部	109名	116名
平成30年度末 会員数 530名		

② 請負事業実績（公共・民間別内訳）

区分	契約金額（円）	構成比（％）
公共	133,293,760	44
民間事業所	92,314,799	31
一般家庭	76,576,033	25
全体	302,184,592	100

③ 労働者派遣事業（公共・民間別内訳）

区分	契約金額（円）	構成比（％）
公共	9,275,363	23
民間事業所・一般家庭	30,763,488	77
全体	40,038,851	100

3, 重点事項とその実施状況

(1) 就業開拓提供事業の充実

- ① 中期3ヶ年事業計画（Ⅲ期）に沿った事業運営を行った
- ② 仕事の案内などチラシを作成し、新聞折り込みを行いました
- ③ 危険有害な就業の排除・職種の充実
- ④ 市に協力し総合事業（介護予防）を行っています
- ⑤ 公平な仕事の配分が出来るよう毎週配分会議を行いました
- ⑥ 独自事業が活発化するように広報を行いました

(2) 普及啓発事業の促進

- ① シルバー機関誌『そお』第17号を全戸配布いたしました
- ② チラシの新聞折り込み・来店者へのPR活動を行いました
- ③ 市民祭やイベントに参加しPR活動を行いました
- ④ そおグッドFMで会員募集の案内を行いました
- ⑤ 市報や新聞記事など掲載を依頼いたしました。
- ⑥ 各地区でボランティア活動を実施し、ゴミ拾い・駅舎路線の清掃活動を普及月間に実施し、地域への恩返しとして奉仕作業を行いました

(3) 安全・適正就業推進事業の徹底

- ① 7月27日にKTSタレントの「タマリ」氏を招いて、『働く喜び』と題して末吉総合体育館で安全講習会を実施いたしました
- ② 安全教育を11月21日安全の日に合わせて保険代理店の講習会等を行いました。
- ③ 4月10日・18日・25日に機械メンテナンス講習会を実施いたしました
- ④ 公平に作業を分配するために適正就業をすべくローテーション作業を心がけました。
- ⑤ 新人研修・派遣社員の研修を4月12日に行いました
- ⑥ 11月21日の当センターの安全の日講習会と体力測定を行いました。

(4) 地域ニーズ対応事業の促進

- ①本年度より始まった各地域就業機会創出事業（高齢者見守り買い物代行・すくすく子育て・空き屋 維持・管理事業）について目標を設定し、年度の目標を達成致しました。
- ②新たな商品開発を茶房『よいやんせ』で試作中です
- ③総合事業の取り扱いが増加しました
- ④派遣事業の拡大の為に企業先にDM・電話連絡・訪問など行いました。

(5) 相互扶助等事業の実施

- ①総会で事業貢献者の表彰を行いました